

第7回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 受賞者の決定と表彰式開催について

JST（理事長 橋本 和仁）は、第7回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の受賞者を決定しました。表彰式は、2025年10月26日（日）に日本科学未来館（東京都江東区青海二丁目3番6号）にて開催します。

○ 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）



中野 知香（ナカノ ハルカ）氏
九州大学
応用力学研究所 海洋プラスチック研究センター 助教
専門分野：環境動態解析、大気水圏科学

○ 輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）



大阪公立大学 大阪公立大学（学長 櫻木 弘之 氏）
Osaka Metropolitan University

○ 輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）



原 祥子（ハラ ショウコ）氏
東京科学大学
脳神経機能外科学分野 講師（キャリアアップ）
専門分野：脳神経外科、脳血管障害、もやもや病、神経科学、認知機能

第7回となる今回は2025年4月1日（火）から6月30日（月）までの期間に募集し、外部有識者からなる選考委員会（別紙2）による審査を経て、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）1名、輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）1機関、加えて、輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）1名を決定しました。

受賞者にはJSTから賞状と賞牌を授与するほか、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者には副賞として芦田基金*から賞金100万円が贈られます。

*1994年にデザイナーの故 芦田 淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター（JISTEC）に寄附し設立された基金。

<添付資料>

別紙1：第7回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

別紙2：輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）について

<お問い合わせ先>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 人財部 ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

嶋田 一義（シマダ カズヨシ）

Tel：03-5214-8443

E-mail：diversity@jst.go.jp

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel：03-5214-8404 Fax：03-5214-8432

E-mail：jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

第7回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

○ 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）



中野 知香（ナカノ ハルカ）氏

九州大学

応用力学研究所 海洋プラスチック研究センター 助教

➤ 専門分野

環境動態解析、大気水圏科学

➤ 経歴

2007年	埼玉県立川越女子高等学校 卒
2011年	東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科 卒
2013年	東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科 海洋環境保全学専攻 修士課程修了
2016年	東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻 博士課程修了
2016年	東京海洋大学 博士研究員
2017年	日本気象協会
2018年	東京海洋大学 博士研究員
2021年	産業技術総合研究所 産総研特別研究員
2023年	マレーシア・プトラ大学 Visiting professor
2022年～現在	九州大学 応用力学研究所 海洋プラスチック研究センター 助教

➤ 受賞理由

中野氏は、海洋マイクロプラスチックの実態解明と検出法の開発を通じて、国際的に顕著な成果を挙げている。東京湾から東南アジアにかけての広範なフィールド調査を主導し、モンスーンや河川流入がマイクロプラスチック動態に与える影響を解明。その研究は、東南アジアを拠点とする共同研究や国際標準化活動を通じて、学術的な貢献と社会的な波及効果の両面で高く評価されている。開発途上国でも安価にマイクロプラスチックを分析できる技術の開発は、独創的かつ社会貢献度の高い実績である。

研究活動と並行して後進育成にも尽力し、福岡市では環境モニタリング委員を務めている。研究力、社会貢献、国際性のいずれの面でも卓越した実績を残しており、今後のさらなる活躍が期待される研究者である。

○ 輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学（学長 櫻木 弘之 氏）

➤ 受賞理由

大阪公立大学は、先進的なビジョン「景色を変える」を掲げ、独自の「OMU 女性教員昇任制度」を制定。学長と人事委員会によるリーダーシップの下、各部局で昇任条件を満たした女性教員が、ポストに空きがなくても昇任可能にするもので、わずか2年間で女性教授13名、准教授6名を新たに任用している。また、次世代の女性研究者育成として、学生主体の「理系女子大学院生チーム IRIS」を設立し、地域との連携を通じたアウトリーチ活動を展開している。この活動は15年以上にわたり継続しており、全国的にも高い評価を受け、次世代女性研究者育成のモデルケースとなっている。IRISを通じて、地域や企業との協働を促進し、女性の社会進出や活躍の場を広げることに寄与している。

これらの取り組みは、他大学における制度設計のヒアリング対象にもなっている。女性の社会進出を後押しし、未来の研究者を育てるための同校の革新的な取り組みは、他機関の模範となるものである。

○ 輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）



原 祥子（ハラ ショウコ） 氏

東京科学大学

脳神経機能外科学分野 講師（キャリアアップ）

➤ 専門分野

脳神経外科、脳血管障害、もやもや病、神経科学、認知機能

➤ 経歴

2003年	私立女子学院高等学校	卒
2009年	東京医科歯科大学（現 東京科学大学）	医学部 卒
2011年	東京医科歯科大学（現 東京科学大学）	脳神経機能外科学分野 入局
2020年	東京医科歯科大学（現 東京科学大学）	脳神経機能外科学分野 助教
2021年	東京医科歯科大学（現 東京科学大学）	脳神経機能外科学分野 もやもや病診療・研究責任者
2024年～現在	東京科学大学（旧 東京医科歯科大学）	脳神経機能外科学分野 講師（キャリアアップ）、医局長

➤ 受賞理由

原氏は脳神経外科診療を行う臨床研究医として、厚生労働省が定める指定難病で脳血管のまれな病気である「もやもや病」に関する先駆的な研究を推進している。医学部卒業後わずか10年で、全国有数のもやもや病診療実績がある施設の診療研究責任者に任命されている。脳神経学の分野において、日々変わりゆく臨床現場での経験を生かし、多様な視点から同時進行で複数の研究を推進している。論文数と論文引用数とその実力を示している。

研究活動と並行して、学会の理事や委員を務めるほか、ダイバーシティ推進、高校生や患者会への啓発活動にも積極的に取り組んでいる。脳神経外科医と研究者という2つの優れた側面を持ち、医療界における女性のロールモデルとして、今後のさらなる活躍が期待される希少な人材である。

<輝く女性研究者賞(科学技術振興機構理事長賞)について>

輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)受賞者に肩を並べる高い研究実績を持ち、かつ、輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)の受賞者と異なる研究分野または研究キャリアパスを有する応募者がいた場合、輝く女性研究者賞(科学技術振興機構理事長賞)を設置し授与しています。

輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）について

JST はダイバーシティを推進する取り組みの中で、女性研究者の活躍を推進しています。日本では研究者に占める女性の割合がいまだに低く、研究開発プログラムなどへの女性研究者の参画も少ない状況にあります。そこで 2019 年度に、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者と、女性研究者の活躍を推進している機関を表彰する制度として「輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）」および「輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）」を創設しました。

詳細はウェブサイトをご参照ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/diversity/about/award/index.html>

選考委員会

（敬称略、委員長を除き五十音順、所属・役職は公募開始時点）

氏名	所属・役職
山下 由起子（委員長）	マサチューセッツ工科大学 Susan Lindquist 女性科学者冠教授
上田 修功	理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長
大越 慎一	東京大学 大学院理学系研究科長・理学部長
小林 千晶	ハートフォードシャー大学 宇宙物理研究センター 教授
玉田 薫	九州大学 副学長・同 先導物質化学研究所 主幹教授
中村 志保	元 キオクシア株式会社 メモリ技術研究所 参事
水島 昇	東京大学 大学院医学系研究科 教授
八木 絵香	大阪大学 CO デザインセンター 教授